

1馬連平均 3280円
 ①人気は未勝利で、5人
 ②以下が5連対。波乱含み。
 ③対全馬がキャリア3戦
 ④以上。2戦以下(00217)
 ⑤対全馬がキャリア3戦
 ⑥対全馬がキャリア3戦
 ⑦対全馬がキャリア3戦
 ⑧対全馬がキャリア3戦
 ⑨対全馬がキャリア3戦
 ⑩対全馬がキャリア3戦

京成杯

年	場	所	距離	頭数	1着	2着	3着	4着	5着	6着	7着	8着	9着	10着
23	中山	2000	16頭	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
24	中山	2000	16頭	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
25	中山	2000	16頭	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
26	中山	2000	16頭	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
27	中山	2000	16頭	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

JRA中間発表 馬番連勝オッズ

馬番	連勝	オッズ
1	1	88.6
2	1	148.4
3	1	242.7
4	1	77.0
5	1	81.1
6	1	189.5
7	1	67.8
8	1	33.9
9	1	69.8
10	1	108.1
11	1	328.7
12	1	17.8
13	1	282.2
14	1	46.1
15	1	37.5
16	1	10731.4
17	1	113710.1
18	1	12480.9
19	1	1361.0
20	1	1527.7
21	1	1180.5
22	1	895.1
23	1	117.5
24	1	1236.7
25	1	787.0
26	1	206.1
27	1	309.1
28	1	111.9
29	1	837.7
30	1	1328.5
31	1	4971.5
32	1	360.7
33	1	1185.0
34	1	509.2
35	1	120.4
36	1	96.1
37	1	57.8
38	1	68.1
39	1	133.1
40	1	865.7
41	1	552.5
42	1	633.4
43	1	196.7
44	1	114.9
45	1	564.5

グリーンチャンネル解説者
黒津 紳一
 大外枠の前走は前に壁を作れず序盤はかなり行きたがったが、終わってみれば後続に4馬身差。能力の高さは十分に示したウムの高さは、GIIIのこに折り合えば、GIIIのこでも首位争い必至。

京成杯優勝馬の前走成績
 18年 ジャリスコライト 朝日杯③
 19年 サントレット 朝日杯③
 20年 マイルチャールズ ホープ①
 21年 エイロープスト 五百万①
 22年 エイティフルジョー 五百万①
 23年 エイティフルジョー 五百万①
 24年 エイティフルジョー 五百万①
 25年 エイティフルジョー 五百万①
 26年 エイティフルジョー 五百万①
 27年 エイティフルジョー 五百万①

⑧マイネルラフレシア「小差」
 高橋裕師は押し出されて先手思い描いた競馬ができてきた。前回だが、併せ馬になった。距離延長は問題ないと思う。好位差しの形がとれば、⑨オンザロック「着か」
 清水助手「前走後も疲れは見せず、順調に調整できた。強い相手になつてきたことが、地力強化につながっていった。強い」
 10アドマイヤモラル「再注」
 上原師「前走は結果的に差し馬の決着。スタートが良すぎて

中山 10R
力強い蹴りで抜群の推進力 上昇

馬番	名	性	年	調	脚	先
1	メートルダール	牝	3	1	脚	先
24	南BW稍助	手	7	2	脚	先
30	南BW稍助	手	6	3	脚	先
3	南BW稍助	手	5	4	脚	先
7	南BW稍助	手	4	5	脚	先
14	南BW稍助	手	3	6	脚	先

①メートルダール南W稍 70.2 54.9 40.3 13.1⑦馬なり先
 24南BW稍助 手 68.1 52.5 38.4 13.3⑦G前強併
 30南BW稍助 手 60.3 43.9 14.1⑨馬なり
 3南BW稍助 手 54.1 39.2 13.0⑨馬なり
 7南BW稍助 手 83.7 68.2 53.4 38.8 12.9⑨G前強併
 14南BW稍助 手 68.7 53.5 40.0 13.3⑨G前強併
 (古5000スプレンドレ馬りの外を走走3駒先着)

⑦ブラスシ南W稍 68.1 53.3 39.1 13.2⑧一杯強併
 7南BW稍助 手 82.7 67.3 52.8 39.2 13.4⑦未一杯併
 14南BW稍助 手 84.2 68.9 54.6 40.9 13.5⑥強めに
 ⑧マイネル南W稍 70.2 55.0 40.3 12.8⑧馬なり
 30南BW稍助 手 69.6 54.5 40.1 13.3③強めに
 4南BW稍助 手 86.5 70.7 55.4 40.3 13.0⑤馬なり
 8南BW稍助 手 67.7 52.5 37.9 12.3⑦一杯併併
 13南BW稍助 手 67.3 52.2 37.4 12.2⑥G前強併
 ⑨2週続けてシャープな伸び、少し背が伸びて成長【B】
 9栗坂助手 578 433 136馬なり 14栗坂助手 531 397 128未強併
 (古5000ウエッチェンジ馬りの外を走走3駒先着)

先行したこの馬にはきついな展開
 離れたOK。折り返しの問題なく距離はOK。巻き返しに力がある
 11アポロナイズ「着級」
 堀井師「久々を使われた上積みはあるし、決め手比べになる。重賞挑戦で甘くはないが、どこまで通用するかを試す」
 12ウエッチェンジ「上位争い」
 清水助手「前回はもう少しうまく立ち回れば③着はあったという内容。二千ならスッと先行できそうなので、クラシッ

②ウムブル南W稍 53.4 38.9 13.0⑦馬なり遅
 4南BW稍助 手 58.9 43.5 14.1⑤馬なり
 7南BW稍助 手 85.4 71.2 56.0 40.5 13.6⑤強強併
 11南BW稍助 手 55.5 40.0 13.2⑥馬なり
 14南BW稍助 手 70.6 54.4 39.7 13.4⑥馬なり併
 (古1600キャンベルジュニア馬りの内併入)

⑩アドマイヤ南W稍 52.7 38.1 12.7⑧馬なり
 7南BW稍助 手 70.1 53.5 39.4 12.8⑨馬なり併
 14南BW稍助 手 68.2 52.1 38.5 13.5⑦馬なり先
 (三未勝マーヴェラス一杯の外を走走4駒先着)

悪かったし、休み明けのハンデ
 14アポロナイズ「力有も」
 小笠師「向正面の行きさぶり良かつたと思うので、ここで現状の力を計りたい」

③ケルフロ南W稍 53.8 38.9 13.2⑥馬なり併
 25南BW稍助 手 56.6 41.8 15.0⑤馬なり
 31南BW稍助 手 69.6 53.9 38.9 13.1⑦馬なり遅
 4栗坂助手 574 427 141馬なり
 7南BW稍助 手 68.1 53.6 39.3 13.8⑤G前強併
 14南BW稍助 手 52.8 38.2 12.9⑦馬なり併
 (三未勝オージョイト強めの内を走走併入)

⑪アポロナイズ「着級」
 美坂 助手 56.0 41.1 13.4 一杯強併
 14栗坂助手 541 394 127一杯強併
 ⑫ウエッチェンジ 栗坂 川田 50.6 37.1 12.4 一杯強併
 7栗坂助手 570 422 141馬なり
 11栗坂助手 499 367 129一杯強併 14栗坂見習 527 395 125馬なり先
 (古5000オンザロック強めの内を走走併入)

は感じた前回は、二千もこの馬にはやや長いかな...と思う面も一度使った効果が切れたが、増していただければいいのだが、
 15ナムラシグン「要注意」
 高野師「前回はゲートの出が良かった点が収穫。今回は折り良かつたと思うので、ここで現状の力を計りたい」

④プロフェッ南W稍 53.3 40.1 12.5⑦馬なり併
 24栗CW不助 手 88.2 70.4 55.4 40.8 12.4⑧一杯強併
 31栗CW良助 手 86.1 70.3 54.9 40.7 12.2⑦未強強併
 3栗坂助手 540 395 125馬なり
 6栗CW良フォア 87.0 70.1 54.9 40.3 12.3⑥馬なり併
 11栗坂助手 554 406 130馬なり 14栗坂フー 539 400 122強めに先
 (古1000タイキプレミアム一杯を走走2駒先着)

⑬ダイチラテ南W稍 68.5 53.1 38.2 13.1⑥一杯強併
 31南BW稍助 手 52.7 38.5 12.8⑤馬なり
 3南BW稍助 手 55.6 39.5 13.3⑧一杯強併
 6南BW稍助 手 71.9 55.6 40.5 14.3⑦馬なり
 14南BW稍助 手 68.4 53.1 38.3 13.7⑤馬なり先
 (三未勝シグルマン一杯の内を走走併入)

スタップ予想
 1メートル 脚質
 2ケルフロ
 3ケルフロ
 4ケルフロ
 5ケルフロ
 6ケルフロ
 7ケルフロ
 8ケルフロ
 9ケルフロ
 10ケルフロ
 11ケルフロ
 12ケルフロ
 13ケルフロ
 14ケルフロ
 15ケルフロ

⑤カミノライ南D良 68.6 53.9 40.5 13.4⑥馬なり
 30南Dダ良助 手 73.3 57.9 43.2 13.9⑦馬なり
 7南Dダ良助 手 67.4 52.8 39.5 13.5⑦一杯強併
 13南BW稍助 手 85.5 70.2 55.2 40.5 13.2⑦馬なり併
 (三未勝シグンガ馬りの外で先行併入)

⑭ブレイブ南W稍 84.2 69.7 55.2 41.2 13.7⑥馬なり
 8南BW稍助 手 82.8 67.6 52.6 38.7 12.9⑥馬なり先
 11栗坂助手 604 449 145馬なり
 14南BW稍助 手 83.1 67.6 53.1 39.4 13.0⑨馬なり先
 (古5000キング一杯の外を走走2駒先着)

⑮ナムラシグン 栗坂 助手 53.7 38.7 12.2 未強強併
 4栗坂助手 589 425 134馬なり 7栗坂助手 554 400 122一杯強併
 10栗坂助手 578 415 127未強強併 13栗坂助手 550 395 122一杯強併
 (古1600クルーザー一杯で先行2駒遅れ)



大川浩史

前走距離が重要なムーンクレスト(中山9R)の距離別成績は

- 千四(1020)
- 千六(1103)
- 千八(1112)
- 二千(0003)

単純に「二千は長い」としてもいいが、千八の「前走の距離別成績」をみると

前走が千四：⑤着

11R3連複
上位1⁴〜25⁴

1218	10.5
1212	23.9
2812	24.0
1812	26.5
1214	29.9
1215	30.3
1217	33.3
1213	33.8
2418	37.2
1718	38.9
2815	41.7
2718	41.9
1815	47.4
1418	48.2
1214	54.1
4812	54.5
1318	56.2
2318	60.2
7812	64.6
1814	65.0
2814	67.9
81215	78.2
1216	83.2
2412	85.1
1412	86.1

競馬編集長の目

京成杯出走組は2000mになった99年以降、京：卓

99オースミブライト ①：②

05アドマイヤジャパン ①：③

07サンツェペリン ①：②

08マイネルチャールズ ①：③

10エイシンフラッシュ ①：③

という卓月賞との関連があるもの、17年間で5頭の勝ち馬が卓月賞で善戦しているだけ。路線の主流ではない

だが、2歳重賞が改革されている(朝日杯、ホープフルSなど)。近年は多頭数になり、今年ホープフルS(GII)組が3頭もいる。本番卓月賞の好走馬が増えるかもしれない

勢いに乗るモリスなどの堀厩舎が、例によって短期免許のF・ベリー騎手を配し、ウムブルフを出走させる。

前回の中山2000mをムア騎手で4馬身差圧勝。2分02秒9は平凡だが、ムア騎手とすれば早めスタートの力まかせの競馬。タメて切れを生かすタイプではないことを連続騎乗で分かってしまったから：と映っ

前走が千八：③④着

距離を短縮しての千八ならいいが、そうでなければ千八でも危なっかしい。千四・千六というステップの時も③④着と着順を下げた。単に距離が長いから短いかは長い、前走との比較で距離が長い短いかが問題。

アドマイヤムーン産駒の牡馬はこのタイプが多く、アットウ

イル(中京11R)も2000M以上の距離短縮時は(1120)。

今出走するムーンクレストは千八に出走するムーンクレストは好走パターンに入っている。

母方はファミリーの「ウ」の継承が示すように、ドイツ血統。10年の勝ち馬で、やがて本物に育ったエイシンフラッシュがそうだった。ウムブルフの牝系はもう一世紀以上もドイツ牝系として定着している。日本で知られる著名馬はいないが、ウムブルフの祖母ウンガリン(99)の全兄に、ウムブルフ(父はリファール直仔のグリーファリク。ドイツ賞G1、ミラノ大賞典などの勝ち馬)という馬がいた

そのウンガリン(94)は、98年のジャパンCにドイツから来日している。エルコンドルパサーに1.8秒もちぎられた②着だった。ウムブルフにとり、あのウンガリンの近親と認識されるのはありがたくないだろうが、エルコンドルパサー、エアグルーヴ、スペシャルウィークなどが強すぎただけ。⑩着ステイゴールドとは、いい勝負だったという記録がある。

ディープ産駒にしては切れない危険はあるが、F・ベリーが追いまくってもバテないだろう。少しスタフな芝が合う、渋い候補に浮上したい

「文通って何？」



小本菅大祐

発見スゴイ馬

一気に寒くなり、怖い怖い雪マークが天気予報につき始めました。体が冷えないように、懐から暖めていきたいものです。新馬戦から2頭。まずは④Rのサニーデイヒーロー。半マイルから一気に飛ばした先週の追い切りが、スピード感満点の動き。直前も追って反応良く、一頓挫あった影響は全くありません。スピード能力は一枚上、逃げ切りを狙います。

⑥Rはカタルーニヤ。道中、押さえるのに苦勞するほどの手ごたえから、力強い動きを見せた直前の稽古が好内容。素質の差で圧倒します。

⑦Rはプリンセスロック。勝った気性をうまく押さえられた前走ですが、直線は内へ内へと狭い進路。外出できれば…の内容で、改めて注目。

11R3連単
上位1⁴〜25⁴

2118	43.3
1218	48.2
2811	51.8
1214	59.7
8211	61.0
8112	63.3
2112	67.8
1812	72.1
2115	76.5
2113	77.2
1212	79.1
2812	94.0
1215	97.2
1213	97.5
2114	101.2
8212	112.4
2151	113.2
1217	116.1
1217	121.6
2128	132.5
2158	134.0
8122	134.4
2121	135.9
8112	140.1
1812	143.8

◆ディープインパクト産駒の成績
23年スーパーバード ⑩着④
スマートロビン ⑫着①
24年ベストディール ①着②
クアデント ④着②
25年マイネルストラノ ⑧着⑥
26年アインザライフ ⑧着④
クラングレイ ⑩着④
27年ソールインパクト ④着③
*内は人気

藤本貴久の「囁き」
中山8R アンヴァリッド
車両で前に座った女性。頭を後ろの窓につけての爆睡。すると徐々に顔が斜めに傾き口も半開きに…まさにジュリー状態！これ分かるかな？
「戦ってきた相手関係からも現級では力が違う。叩き一変」

と云われてしまいがちだが、仕事から解放されてひとりになり、そのときどきの思いを綴り、切手を貼ってポストに落とすのは、なかなかのオシャレだと私は思っているのだ。

最近の手紙で心に強くひびいたものがある。

「京成杯が近いけど、もしうちの牧場から京成杯に出る馬がいたら、すごい感激だろうな」と雪の中で馬と歩きながら思いました。いつか、京成杯を走るような馬と出会えるだろうか」

読んで私は、じいっと、宙を見つめてしまった。

京成杯は前走で器の深さを強く感じたウムブルフが本命。馬単②①①、②①①、②①①。

日経新春杯は秋から絶好調を保持しているシュヴァルグランが本命。馬単⑦①①、⑦①①。

競馬人情 吉川良

私は北海道の牧場ではたらいている4人と、2カ月に一通ぐらいの、手紙のやりとりをしている。4人とも、それはもう10年以上も続いている文通だ。

別々の牧場ではたらいっている4人で、4人のあいだにつながるりはないが、共通しているのは繁殖牝馬が10頭ぐらいの小きな牧場だ。

取材先の静内や浦河で知りあったり、私の文章について手紙をくれたりしたのは4人との出会いのきっかけである。

みんながスマホをいじり、ラインとかメールがあたりまえの時代に、